

< 2012年 農林水産研究成果10大トピックス TOPIC8 >

農林水産技術会議事務局

<タイトル>

青刈りトウモロコシ用高速不耕起播種機を開発
ー飼料用トウモロコシ栽培の省力化に期待ー

<当該研究成果のポイント>

開発した不耕起播種機（以下、「開発機」）は、種子を高速時でも1粒ずつ一定方向に繰出すことができる新開発の種子繰出装置を搭載しており、さらに、ほ場表面に切れ込みを入れるディスクコールドと溝拡幅部が直列にほぼ接する状態で配置され、作物残渣の影響を受けにくい構造を有する高速種子土中定着機構が装備されている。

開発機は、不耕起ほ場においてトウモロコシを作業速度2m/sでも播種することができる。新たな機構と軽量化により、30PS程度のトラクターで作業が可能で、不耕起圃場と耕うん整地圃場の双方に播種することができる。

本成果は（独）農研機構 生物系特定産業技術研究支援センターとアグリテクノ矢崎（株）が連携して開発した。

<期待される効果・今後の展開など>

本播種機の使用により、トウモロコシ播種における耕耘整地作業が省略できるため、飼料用トウモロコシ栽培における耕耘・播種・施肥の作業時間が慣行栽培の3～4割に削減されると試算される。本播種機は共同開発したアグリテクノ矢崎（株）より平成24年度中の市販化が予定されている。

<研究所名>

（独）農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター
アグリテクノ矢崎（株）

<担当者名>

（独）農研機構生物系特定産業技術研究支援センター
畜産工学研究部 橋 保宏、川出 哲生 TEL:048-654-7094
アグリテクノ矢崎（株） 有吉 映明

<連絡先>

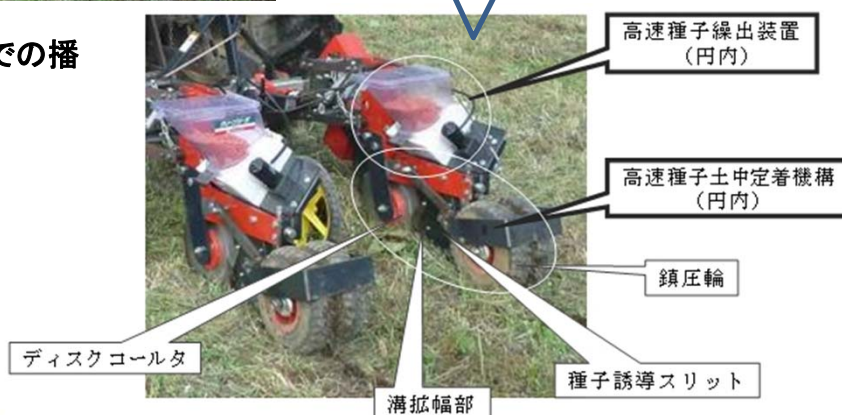
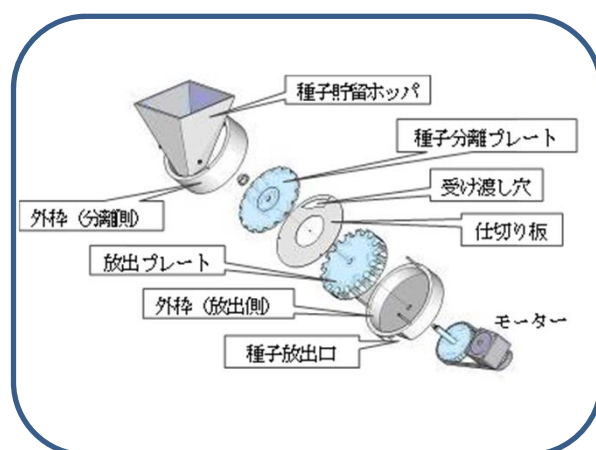
（独）農研機構生物系特定産業技術研究支援センター
機械化情報課 藤井桃子 TEL:048-654-7030

青刈りトウモロコシ用高速不耕起播種機を開発 — 飼料用トウモロコシ栽培の省力化に期待 —

種子を高速に繰り出すことができる新開発の種子繰出装置により、トウモロコシを作業速度2m/sで播種可能。新たな機構と軽量化により、30PS程度のトラクターで作業が可能。



開発機による不耕起ほ場での播種作業



開発機の構成



残渣が残る不耕起ほ場でも斉一な出芽